

自転車は、日常生活の中で、手軽で便利な移動手段として子どもから高齢者まで多くの人達に利用されています。しかし、自転車は、自動車やバイクなどと同じように、車両の仲間であり、守らなければならぬルールがあることを意識して運転している人は意外と少ないかもしれません。

例えば、自転車は、原則、道路の左側を通行することになっていますが、道路の右側や中央を走行している自転車や2列以上に横並びになって走行している自転車を見かけることも珍しくありません。

令和4年11月1日に自転車安全利用五則が改正され、下表のような内容となりました。勿論、これらの5則以外にも守らなければならぬルールもあります。違反した場合、警察による取り締まりが従来以上に厳しくなり、赤切符が切られ罰

自転車 ルールを守り 安全に乗ろう！



則が適用されることもあります。取り締まりが厳しくなったから、ルールを守るという意味ではありませんが、自転車に乗る時には、自転車に乗っている人自身も又歩行者にとっても安心して安全に道路を利用できるように気をつけたいものです。

自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側通行 歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用(※努力義務)



社協特別会費にご協力いただき ありがとうございます

令和4年度法人募金(特別会費)につきましては、多くの皆さまのご支援並びに関係各位の多大なご協力をいただきありがとうございました。お寄せいただきました募金は、地域福祉活動の充実・発展に有効に使わせていただきます。ここに、募金のお礼とご報告を申し上げますとともに今後もなお一層ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八幡学区社会福祉協議会 会長 白井 久 隆

協力企業 商店	(株)栄畑瓦商店	(有)中野電機商会	ハヤタケ工業	ヴォーリス老健センター
	チュチュタムラ	大信建設(株)	居酒屋おはな	近江八幡和船観光協同組合
	京料理 宮前	(株)竹内モータース	滋賀中央信用金庫	社会福祉法人 小羊会
	川梅鉄工所	ツジソト(株)	八幡支店	グリーンホテル
	(株)カワサキ	(有)かじ直タイヤ	滋賀中央信用金庫	YES 近江八幡
	(株)秋村組	(株)カネ吉ヤマモトフーズ	本店	BAR SEA STONE
	(株)ラーゴ	シキボウ(株)八幡工場	(株)京都新聞社	(順不同・敬称略)
	(株)ダイゴ	ティースペース茶楽	滋賀本社	
	(株)奥村佃煮	近江花勝造園(株)	滋賀北部総局	
	きてか～な	みぞがみ建築	ヴォーリス記念病院	
	(株)日吉	ジーエムストーン(株)	ケアハウス信愛館	
	(株)坪清	福井電気工業(株)	友愛の家 ヴォーリス	
	華建築(株)	(株)滋賀銀行		

※こちらに掲載の企業以外にもご協力いただきました。

【福祉活動全般】・日牟禮八幡宮 宮美会 【子ども食堂】株式会社 平和堂・JA バンク滋賀・JA グリンピース基金・NPO YORISOI network・日成株式会社・その他企業・地域の方や農家の皆さまよりご支援いただきました。

歳末たすけあい募金協力金お礼と実績報告

令和4年度の八幡学区の募金額は、477,450 円で、その内の7割の 334,215 円の配分が、近江八幡市共同募金委員会から八幡学区社会福祉協議会にありました。この配分金は、福祉活動団体・福祉委員会・子ども会・老人会・百歳体操等活動支援の助成金として支給させていただき、いきいき健康づくり教室(ウォーキングでいきいきと！)の実施にも活用させていただきました。

記録的な大雪となった1月25日。前日夕方から猛烈な吹雪が吹き荒れ、八幡学区もすっかり雪に覆われて外出するのも困難な状況となりました。

この日は民生委員さんによる一人暮らしの高齢者向けの「ふれあい弁当」お届けの日となっていました。今年度は3人の民生委員さんが登録してくださっていて、毎月2回お昼にお弁当を高齢者の

大雪の日の ふれあい弁当



お家に届けてくださっています。今回はさすがにこの天候では中止と思われましたが「うちは近いからね」「おじいちゃんに待つてくれるからね」と言いながら、長靴をはいても足がうずもれてしまいそうなか、3人の民生委員さん全員がコミセンにお弁当を取りに来て、徒歩で高齢者のお家に届けてくださいました。

大変な大雪で、一人暮らしの高齢の方々は外出もしにくく、話す相手もなく、心細い思いをされ



「キッズ防災教室」が1月25日に八幡コミセン大会議室にて実施されました。これは八幡学区まちづくり協議会安全安心部会が近江八幡市子ども防災塾事業として企画したもので、子どもも育成部会の「寺子屋八幡」に参加している小学三年生に防災について学んでもらいました。

今回は、災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を使いました。これは実際、95年の阪神大震災の際、神戸市の職員の皆さんが実際に迫られた難しい判断状況をもとに作成されており、その中でも小学生でも身近に考えられそうなカード3枚を選び、八幡小学校の勝山先生のご指導により分かりやすい解説を交えて進められました。

第1問は「震災が起きた。あなたは家族と一緒に可愛がっている犬(ゴールデンレトリバー)を避難所に連れていきますか？」という問いでした。子どもたちはあらかじめ5人ずつのグループに分かれていて、1分間自分で考えた後、「連れていく」YES、「連れていかない」NOのカードをテーブルの上に出します。それからなぜそう思うのかを5人で話し合ってもらいました。「家族同様なのだから絶対連れていきたい」という子もあれば、「人間の命さえ危ないのに犬を連れていくのはダメと思う」ときっぱりいう子もありました。このゲームには正解はなく、災害を自分事として考え、かつ自分と違う価値観に気づくことが

大切で、子どもたちは自分と違う意見にも耳を傾けていました。

「震災による津波が発生し、自分は避難できたが近所の一人暮らしのおばあちゃんを取り残されていることに気づいた。津波到達まで10分。あなたは助けに行きますか」という問いには多くの子どもたちが「助けに行く」YESのカードを出していましたが、津波の速さは時速800kmですよ」という先生の言葉に「えっ、無理やん」とたじろぐ姿も見られました。助けに行つて、無事助けられたこともあれば、間に合わなかったこともある、その状況に応じて一人一人が自分で考える力を持つ必要があります。また小学生でも普段からできることとして「近所の一人暮らしのおばあちゃん」の存在を知る「こと、震災の際には「周りの大人におばあちゃんのことを知らせる」ことなど、できることはたくさんあり、日頃から考えておかねばならないお話しも聞くことができました。町内会や自治会で取り組んでみても学びがあるのではないのでしょうか。

近江神宮五色百人一首 滋賀県大会 八幡学区の子どもたち 大活躍！

「五色百人一首滋賀県大会」が、1月29日に「かるたの殿堂」と言われている大津の近江神宮で開催され、八幡コミセンで毎月開いている「百人一首教室」に通う児童たち等が参加しました。(八幡小学校2年・6年・9名、八幡中学校・1名)

滋賀県内から集まった強豪を相手に、厳しい戦いに挑戦した子どもたち



五色百人一首 滋賀県大会 <大津市近江神宮にて>

桃札優勝 八幡小4年 福井小都さん
緑札優勝 6年 児玉希さん
黄札準優勝 5年 杉森月奈さん
橙札・青札 八幡中2年 住友晶さん
同時優勝

キッズ防災塾

「あなたならどうする？」の質問に 子どもたちが真剣に取り組む



「震災による津波が発生し、自分は避難できたが近所の一人暮らしのおばあちゃんを取り残されていることに気づいた。津波到達まで10分。あなたは助けに行きますか」という問いには多くの子どもたちが「助けに行く」YESのカードを出していましたが、津波の速さは時速800kmですよ」という先生の言葉に「えっ、無理やん」とたじろぐ姿も見られました。助けに行つて、無事助けられたこともあれば、間に合わなかったこともある、その状況に応じて一人一人が自分で考える力を持つ必要があります。また小学生でも普段からできることとして「近所の一人暮らしのおばあちゃん」の存在を知る「こと、震災の際には「周りの大人におばあちゃんのことを知らせる」ことなど、できることはたくさんあり、日頃から考えておかねばならないお話しも聞くことができました。町内会や自治会で取り組んでみても学びがあるのではないのでしょうか。